農作業の共同化、機械の共同利用によるコスト削減

機械の共同利用により、土地利用型農業（水稲・麦・大豆）の作業効率化を実施。

【類型】 水稲 ＋ 麦 ＋ 大豆

【組織名】Farm（ふぁーむ） ZEN（ぜん）（平成18年11月設立）
＜任意組織（特定農業団体と同様の要件を満たす組織）＞
【所　在】福岡県久留米市
【農業地域類型】平地農業地域
【構成農家戸数】　189戸

【経営規模】

水稲	120ha
麦	27ha
大豆	13ha

Farm ZENを支える担い手たち

設立の経緯

○　米、麦、大豆を中心とした土地利用型農業が盛んな地域であり、従前から機械利用組合を設立し、機械の共同利用による生産を行ってきたが、近年、高齢化によるオペレーター不足が懸念。

○　このため水田・畑作経営所得安定対策の導入を契機に、地域農業の担い手となる組織立ち上げを目指した話し合いを始め、平成18年に組織を立ち上げ、その後機械利用組合を統合し、平成21年２月に「 FarmZEN」として運営を開始。

取組の特徴・効果

○　機械の共同利用による作業の効率化を推進し、米、麦、大豆160haを7台のコンバインで対応。

○　周辺で酪農が多く営まれている特長を生かし、たい肥を利用した特別栽培米の作付けを進め、プライベートブランド米「ほとめき」として地元直売所で販売。H23年産からは、たい肥投入量を１t/10aから２t/10aに増やし、収量・品質の向上に取組。

○　PB米のデザイン、ネーミングは市内高校に頼み、地元に密着した生産販売と、地域循環型農業を推進。

○　カントリーエレベーターの受益地区の３組織で連絡協議会を設立し、オペレーターの障害保険加入や事務員の雇用を共同で実施。